



一中だより

6月号
令和5年6月1日
小平市立小平第一中学校

■「幸せ」を実現させるには 校長 栗林 昭彦

先日の全校朝会でも紹介したのですが、興味深い調査結果を目にしたので、下に掲げます。全国の中学生を対象に実施した調査です。たくさんあった質問の、一部を抜粋しました。ここから見える中学生の「職業観」は、ストレスの少ない、好きな仕事をしたい、でもお金はほしいという都合のよいものです。一方で実際に仕事をしている今の大人は大変そうだとも思っている。彼らの思い描く「幸せ」な姿ではないということでしょう。

生徒に話したのは「では実際に仕事にしたいような『好きなこと』はありますか」ということでした。「就活」という言葉が当たり前のように認知されている現在、就職する会社さえ人気によって毎年ランクが作られています。これまで一つでも偏差値が上の学校を目指して高校、大学と受験してきた若者にとって、ランク上位の会社に就職することが「正解」となっていはしないかと懸念をします。中学生の頃考えていた『幸せ』はこんなものだったのか。何十年もたってそういう後悔をする人生は選びたくないものです。

「キャリア教育」は本校でも大切にしています。2年生を対象に実施している「ジョブスクール」では、「好きなこと」を「楽しそうに」仕事にしている大人を紹介するように

どちらが「幸せ」だと思いますか	Aに近い	Bに近い
A：安定した仕事についている B：好きなことを仕事にしている	38.0	62.0
A：出世しているけれど仕事のストレスは多い B：出世していないが仕事のストレスは少ない	30.5	69.5
A：給料は高いが残業時間が長い B：給料は少ないが残業時間は短い	55.5	44.5
A：いまの大人はたいへんそうだ B：いまの大人は楽そうだ	88.9	11.1

しています。よりよいロールモデルを知ることが、「幸せ」の実現につながればと考えています。

<2021 ソニー生命による調査>

